

## 令和2年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 中標津町商工会経営発達支援事業評価検討委員会
2. 付議日 令和3年3月31日(水)
3. 開催場所 新型コロナウイルス感染症の影響により書面議決
4. 回答者 8名(全員が承認)
5. 内容

### (1) 経営発達支援計画について

書面により、経営発達支援計画に基づいて実施した事業の報告を書面にて行った。

### (2) 令和2年度事業報告について

書面により、令和2年度事業報告を次の通り行った。

#### I. 経営発達支援事業の内容

##### ①地域経済動向の調査に関すること

- ・町内小規模事業者の景況調査による情報収集と分析提供

内容：北海道商工会連合会の景況調査を活用し、町内の4企業を対象に景況調査を実施した。景況調査報告書に基づき巡回訪問時に説明。

目標：1回 実績：4回

結果：業種別の景況が把握でき、今後の経営計画策定支援の基礎資料として活用していく

- ・行政、金融機関の統計資料を活用した経済動向の情報収集

内容：金融機関が発行しているビジネスレポート等を活用し情報収集を行った。

目標：1回 実績：1回

結果：巡回訪問時に業種ごとの経済動向等についての情報提供を行った。

##### ②経営状況の分析に関すること

- ・小規模事業者の経営分析

内容：持続化補助金申請やマル経融資時、ソリマチ会計の活用等により経営分析を行った。

目標：62件 実績：61件

検証結果：巡回訪問等において問題点等を説明し、事業計画策定に向けた支援を行った

##### ③事業計画策定支援に関すること

- ・事業計画策定支援

内容：持続化補助金やマル経融資等で事業計画策定に取り組んだ。

目標：62件 実績：24件

結果：事業計画を策定したことにより、「コロナ禍の中ではあるが今後の方向性が見えてきた」、「補助金をうまく活用することで今後の事業推進にあたっての目標に向かって取組が行える」等の感想をもらうことができた。

・ 創業支援・第二創業に関する事業計画策定支援

内容：町の補助金申請時に事業計画策定に取り組んだ。

目標：10件　実績：5件

結果：創業時に事業計画の重要性を認識してもらう事ができ、今後の事業経営戦略が可能となった。

④事業計画策定後の支援に関すること

・ 事業計画支援に係るフォローアップ

内容：計画策定を支援した24事業者に対して、進捗状況等についてフォローアップを行った。

目標：248件　実績：48件

結果：コロナ禍の中で支援した件数は少なかったが巡回訪問等により進捗状況が把握でき、経営計画に沿った支援が行えた。

・ 創業・第二創業者支援に係るフォローアップ

内容：計画策定を支援した5事業者に対して、進捗状況等についてフォローアップを行った。

目標：40件　実績：10件

結果：創業者が事業を継続するための一助となった。

⑤需要動向調査に関すること

・ 消費者ニーズの把握調査

内容：消費者協会との連携により実施。

目標：1回　実績：1回

結果：消費者ニーズを把握することができ、今後の事業計画策定の基礎資料として活用していく。

・ 観光客ニーズの把握調査

内容：町との連携により実施。

目標：1回　実績：1回

結果：来町している観光客のニーズを把握することができた。また、観光客のニーズにあった土産品等の商品開発の資料として活用していく。

・ 観光入込者数調査

内容：町との連携により実施。

目標：1回　実績：1回

結果：昨年度は観光入込数については新型コロナウイルス感染症の影響により約3割減少、宿泊者数についても約25%の減少となっている。今年度についても新型コロナウイルス感染症の影響で観光入込数は

減少が見込まれるが、宿泊者数については光回線工事の業者等がはいってくるので一定の売上は確保できると思うが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みながら対策について検討を行っていく。

- ・情報の提供

内容：観光関連業者に巡回訪問等により観光客入込数等について情報提供を行いました。

目標：1回 実績：1回

結果：今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により催事等が中止となったが、今後も引き続き情報提供を行うことで事業計画策定の資料として活用していく。

## ⑥新たな需要の開拓に資する支援に関すること

- ・ネット販売等による販路開拓支援

内容：持続化補助金を活用して自社のHPやECサイトの作成支援を行った。

目標：7企業 実績：7企業

結果：HPやECサイトの作成により新たな顧客の獲得が図られた。

- ・建設業地域循環型の広報

内容：町内循環型産業の取り組みである「中標津町中小企業応援補助金」の周知を行った。

目標：1回 実績：1回

結果：周知により「中標津町中小企業応援補助金」の認知度が向上し補助金の申請が増え、町内循環型産業の構築が図られた。

## II. 地域経済の活性化に資する取組

- ・中心市街地空き店舗数

内容：中心市街地の空き店舗について巡回による調査を実施しました。

目標：5店舗 実績：12店舗

結果：最近は中心市街地以外での創業が増えている。中心市街地では閉店により店舗が減少しているが、地主との関連からさら地にして返す方が増えていることから空き店舗は前年並みとなっている。駐車場等との問題もあるが、引き続き創業者に対して町の補助金等をPRすることで中心市街地の空き店舗対策を行っていく。

## III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

### ①他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ・支援機関・金融機関・商工会関連との連携及び情報交換

内容：経営改善貸付推薦団体連絡協議会や経営指導員連絡会議等において情報交換を行った。

目標：15回 実績：3回

結果：各種制度融資を活用するために連携体制の構築が強化され、さらに

職員の支援ノウハウの向上が図られた。

## ②経営指導員等の資質向上等に関すること

### ・職種別の資質向上

内容：経営指導員を中小企業大学校旭川校で開催している専門研修へ派遣し「飲食業の支援」「経営改善支援」「キャッシュフローと利益・資金計画策定支援」について資質向上を図った。補助員については、全道商工会職員研修会等を受講した。

目標：経営指導員 6回 補助員 2回 記帳専任職員 0回

実績：経営指導員 3回 補助員 2回 記帳専任職員 0回

結果：支援ノウハウの向上が図れました。

### ・職場内での研修会による資質向上

内容：税務研修会を実施しました。

目標：3回 実績：2回

結果：職員の資質向上が図られた。

## (3) 令和3年度事業計画及び予算について

書面により、2期目の経営発達支援計画について報告を行い、今年度についても伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して事業の実施を計画してことの報告を行った。

## (4) 事業の評価・見直し結果の内容について

委員からの意見等は下記のとおり。

(館下委員長)

「今年が認定され5年目の年であり商談会等の出展支援により販路開拓や売上の増加に繋がる取組がなされており一定の成果があったものと感じていますが、今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により商談会への参加を見合わせるなど実施できなかった事業等あったが、1期目の事業の見直し等を踏まえて2期目の申請をあげ認定を受けることができたので、令和3年度以降についても事業計画に沿った事業を行っていただきたい。今だに終息が見えない新型コロナウイルス感染症の影響等も鑑みながら計画通りの事業が遂行できるように頑張っていただきたい」と書面により回答を頂いた。